授業改善のためにICTを利活用します

国は、教育の情報化ビジョンの中で、21世紀にふさわしい学びと学校の創造の姿として、授業等での情報通信機器の利活用を示しています。

今、子どもたちが情報社会に主体的に対応できる能力を身に付ける重要性はますます高まってきています。

※ICT：情報通信技術

問　学校教育におけるICTの利活用は、授業改善に効果的と考えるが、システム導入に向けた取り組みについて聞く。

答　今の子どもたちには、21世紀の高度情報通信社会を生き抜くために、パソコン等を日常生活の中で主体的に使いこなす力が求められている。

導入済みの他都市の学校では、タブレットの小テスト機能を活用したタイムリーな理解度把握と個別指導を行っており、本市でも同様の環境を構築しなければならないと考えている。

そのため、先進地の情報を収集するとともに、「ICT研究指定校」を指定し、活用力の向上やワーキングチームを立ち上げるなどの準備をしている。

未来を担う子どもたちが、豊かな学びを享受できるよう、学力向上に資する取り組みの一つとして、情報通信機器の環境整備を国が目安として示している2020年度をめどに、計画的に進めていきたい。

「よさこい移住」を推進します

問　移住促進は、他都市との競争も激しいことから、高知ならではの「よさこい」を売りにした取り組みの考え方を聞く。

答　本年のよさこい祭りには、県外から過去最多となる5千人を超える踊り子の参加があり、よさこいを通じた交流拡大が図られるとともに、観光面においても大きな成果があった。

また、本場・高知のよさこいを体験するために、高知のチームに参加する踊り子も多く、その中には高知への移住を考えている人もいる。

移住に向けた取り組みには、地域の特性や魅力を前面に打ち出すことが必要であるため、本市では、他の地域にはない高知の魅力である「よさこい」を打ち出したいと考えている。

問　具体的な移住促進策について聞く。

答　現在、（仮称）「高知よさこい移住プロジェクト」の推進に向けて、県内外のよさこい出場チームに対して、「よさこい」を通じた移住者や移住希望者の実態調査を実施している。

この調査を基に、短期滞在者も含めた移住体験者によるネットワークづくりや専門窓口の設置、移住応援団の結成など、移住希望者のニーズに応え、本市への移住につなげていく体制を構築していく。

「我が家の食事」

我が家の食卓は、勉強机兼用の180センチサイズで、1年半前に長男が小学校に上がる際、悩みに悩んでこれにしました。

この食卓を囲む我が家の食事は、2人の子どもたちにとっては『家族だんらん』とは程遠い、緊張感あふれる時間となっています。

食卓の準備、配膳、後片付けの手伝いは当然として、あいさつや姿勢、所作・マナーなど、いわゆる『箸の上げ下げ』を私が口うるさく指導しているからです。

まだまだ従順な妹はまだしも、自我が目覚め始めた小学2年生の息子は「もうわかっちゅう」という感情があからさまに表情に出ますし、泣きながら食事をしていることもあります。

しかし、子どものしつけは親の義務であり、食事マナーは公共マナーにもつながる大切なものです。妥協の余地なし。覚悟せよ子どもたち！

（議会広報委員　清水おさむ）

スポーツツーリズムの推進に向けて

スポーツを通じて新しい旅行の魅力を創出することは、それぞれの地域の観光資源を再認識することにつながります。

また、「スポーツ」と「ツーリズム（観光旅行）」の融合は、目的地へ旅をするきっかけとなり、新しい価値や感動を生み出すことや、新たなビジネス等の可能性を広げることができます。

問　「元気な女子」をキーワードにしたスポーツツーリズムの取り組みについて聞く。

答　日本女子プロ野球リーグは、2010年4月の開幕から4年目を迎え、現在4球団が加盟している。本年4月には、土佐清水市で2球団、室戸市で2球団が約10日間のキャンプを実施するとともに、2013ティアラカップ高知大会が高知市野球場で開催された。

また、全国高等学校女子硬式野球は、毎年、春の選抜大会や夏の選手権大会が開催され、十数チームが出場しており、来年度の春の選抜大会は埼玉県で開催される予定である。

これらの誘致については、高知県がスポーツツーリズムを大きな柱に活動を進めていることから、本市においても県と連携して取り組んでいく。

なお、最近は女子旅やスイーツ巡りなど、女性をターゲットにした観光商品などが注目されていることも踏まえて、取り組みを進める。

問　スポーツツーリズムの目玉となるプロ野球キャンプ誘致のため、東部球場の雨天練習場整備の考え方を聞く。

答　東部球場では平成2年の完成以来、福岡ダイエーホークスなど4球団のキャンプや韓国のSKワイバーンズなど2球団のキャンプ、またプロ野球ファームのリーグ戦等が開催されてきた。

本年6月の県議会において、東部球場の雨天練習場の建設に向けて本市と協議を行う意向が示されたことから、本市としても、同球場でキャンプを実施しているオリックス球団や地元の意見を聞きながら、県と具体的な協議を進めていく。